

日本経済新聞社議会改革度調査2014

全国市・区議会改革度ランキング3位!

日本経済新聞：議会改革度調査
全国市・区議会改革度ランキング：高山市の推移

調査発表年度	総合順位	総合得点	総合偏差値	情報公開度偏差値	住民参加度偏差値	運営改善度偏差値
2014	3	64.2	82.67	85.49	71.84	72.44
2012	11	53.4	81.96	75.82	76.86	75.53
2010	470	—	46.13	56.40	42.01	44.35

●「決定の前に審議審査を尽くす」
●「執行の後の検証に努める」

これが高山市議会の改革テーマです。高山市議会の議会改革の取り組みについては、このところ外部機関の調査で高い評価を受けています。今年度に入って早稲

田大学マニフェスト研究所のランキングでは全国7位(前回4位、都道府県議会を含む)、日本経済新聞社の調査では全国3位です。

北海道栗山町議会から始まった「議会基本条例」の制定は、全国の地方議会の在り方を大きく変えてきたところです。しかし、その取り組みについては、「仏作つて魂入れず」の対応も一部では批判されてきたことも確かです。しかし、こうした全国調査を通じて外部からの検証・評価が繰り返される中で、着実にその実践度を高め、精度を高めてきた議会があります。そうしたところがランキング上位の議会です。

そうした意味では、高山市議会の対応は12年度調査、14年度調査を通じて、着実にその総合順位を上げてきており、今回の調査では市・区議会では全国3位の評価をいただきます。

した。

今回は、先般発表された日本経済新聞社の議会改革度調査、「全国市・区議会改革度ランキング」を使い、上位3市議会を比較する

中で、高山市議会はどのような点を評価されているのか、また、改善を求められる点は何かなどを調査項目ごとの比較と偏差値ランキングなどを使い検証してみたいと思います。

活動指標での評価が調査の基本

主な調査項目は

- 1 「情報公開度」
- 2 「住民参加度」
- 3 「運営改善度」

です。それぞれに細かな設定科目があり定量的評価でランク付けされています。

●上位3市議会の比較から見てくるものとして次のような点

があります。

1 「情報公開度」
高山市は「情報公開度」で1位となっています。

この点については、議会の「見える化」「見せる化」を進める中で、本会議・委員会ともにネット中継・ケーブルテレビ中継と録画配信に努めてきたなど、その体制整備が評価された点と、政務活動費の使用の公開と透明度が高く評価されているといえます。

特に政務活動費の精算については、事前に立て替え払いした活動費用を領収書を添付して請求し、事務局のチェックを受けた後で支給される方式をとっており、多くの議会が採用している事前支払方式ではありません。ちなみに、高山市の政務活動費支給額は、年間一人20万円まで、



議場見学に訪れた本郷小学校3年生の皆さん

会派に支給されます。

2 「住民参加度」
次に「住民参加度」では高山市は13位、他の2市議会は4位並立となっています。

ここで目立つことは過去2年間の参考人招致の活用回数之差です。四日市市議会7回、会津若松市議会9回と多用していますが、高山市議会ではこの2年間実施していません。この点については、